

5 原発事故による農業被害及び風評被害対策

農政課

農業振興課

(1) 原発事故による被害

農業における被害は、緊急時環境放射線モニタリングの結果、基準値を超過することにより出荷制限される実害のほか、品質には何ら問題がないにもかかわらず放射性物質を懸念した消費者等の買い控え等により、価格の大幅な下落や、取引量の激減などの風評被害がある。

特に、くだものにおける風評被害は深刻で、観光農園においては、モモの贈答用販売、くだもの狩り、店頭販売の収入は平成23年度においては、従来の1～2割まで激減したという報告がある。

(2) 風評被害対策

ア 除染などの確実な実施

除染や放射性物質の吸収抑制対策などを実施し、空間線量率の低減や農産物への放射性物質の移行を抑制させる等の対策を確実に実施し、その情報を県内外の消費者や観光客に発信。

イ 放射性物質の検査、数値の公表

きめ細かく放射性物質の検査を実施し、結果を公表し、基準値を下回ったものだけが出荷され、市場・量販店などで流通している等の情報を発信。

ウ 平成23年度の検査体制

県による緊急時環境放射線モニタリングを補完するため、東北大学の協力による市独自の放射性物質検査を実施（平成23年8月～）、結果を公表。

(3) 米の検査（全量全袋検査）

① 事業実施主体：福島市地域の恵み安全対策協議会

② 検査対象：福島市内で生産された、すべての玄米

（出荷米、自家消費米、縁故米、くず米、飼料米等）

③ 検査機器：ベルトコンベア式放射性物質検査器 6台

・スクリーニングレベル・・・60Bq/kg

・測定下限値 25Bq/kg

④ 検査期間：24年産米 平成24年9月 7日～

25年産米 平成25年8月28日～

⑤ 検査場所：帝北ロジスティックス 倉庫

日本通運倉庫

⑥ 検査方法

ア) 検査対象米の集荷・配送

〔24年産米〕

- ・ 全ての米の集荷申込みを専用コールセンターで受付。
- ・ 集荷は、市協議会委託運送業者が全ての米を生産者の保管場所から集荷し、検査会場に運搬。
- ・ 集荷の際、市協議会委託運送業者が全ての米袋にバーコードを貼付。
- ・ 検査終了後、出荷米は、JA等の集荷業者が各自の保管場所に運搬。自家保有米は、市協議会委託運送業者が生産者の保管場所へ配送。

〔25年産米〕

- ・ 生産者が、全ての米袋にバーコードラベルを貼付。
- ・ 出荷米は、JA等の集荷業者が集荷し、農産物検査の後に、検査会場業者が検査会場に運搬。
- ・ 自家保有米の集荷申込みを、専用コールセンターで受付、市協議会委託運送業者が集荷し、検査会場に運搬。
- ・ 検査終了後、集荷米は、検査会場業者が出荷業者の保管場所へ運搬。自家保有米は、委託運送業者が生産者の保管場所に配送。

イ) 検査手順

〔24年産米〕

- ・ 全ての米を検査器で測定
- ・ 検査済みラベルを貼付
- ・ 自家保有米と出荷米（出荷業者 13 業者）に仕分け

〔25年産米〕

- ・ 自家保有米と出荷米に分けて搬入された米袋を検査器で測定
- ・ 検査済みラベルを貼付

⑦ 詳細検査及び基準値超過米の対応

- ・ スクリーニングレベル（60Bq/kg）を超過した場合は、県がゲルマニウム半導体検出器により詳細検査を実施。基準値を超えた場合は、市が当該米袋を隔離・保管・処分する。

⑧ 検査結果の公表等

- ・ 市協議会は、検査結果データを、毎日、県協議会へ提出、県は県内全てのデータを一元的に管理する。
- ・ 県協議会は、検査結果等をホームページで公表しており、袋ごとの検査結果も閲覧できる。
また、米袋に貼り付けられた検査済証のQRコードにより携帯電話等のカメラ機能により検査結果を閲覧できる。
- ・ 市協議会は、生産者に対し袋ごとの検査結果を文書により通知。

ア) 検査概要

項 目	スクリーニング検査	詳細検査
検査機関	福島市地域の恵み安全対策協議会	福島県
検査機器	ベルトコンベア式放射能測定器	ゲルマニウム半導体検出器
測定下限値	25Bq/kg	—（検出限界値は7～8Bq/kg）

イ) 検査結果総括表

〔24年産米〕

平成25年3月31日現在

区 分		25未満 (Bq/kg)	～50 (Bq/kg)	～75 (Bq/kg)	～100 (Bq/kg)	100超 (Bq/kg)	計
スクリーニング検査	検査袋数	305,846	7,732	443	0	0	314,021
詳細検査	検査袋数	2	13	179	236	41	471
計	検査袋数	305,848	7,745	622	236	41	314,492
	割合(%)	97.25	2.46	0.20	0.08	0.01	100.00

- ・ 基準値超過：旧福島市8袋、旧立子山村2袋、旧松川町5袋、旧水原村17袋、旧下川崎村2袋、旧平田村7袋

- ・ 農家戸数：8戸

平成26年1月27日現在

〔25年産米〕

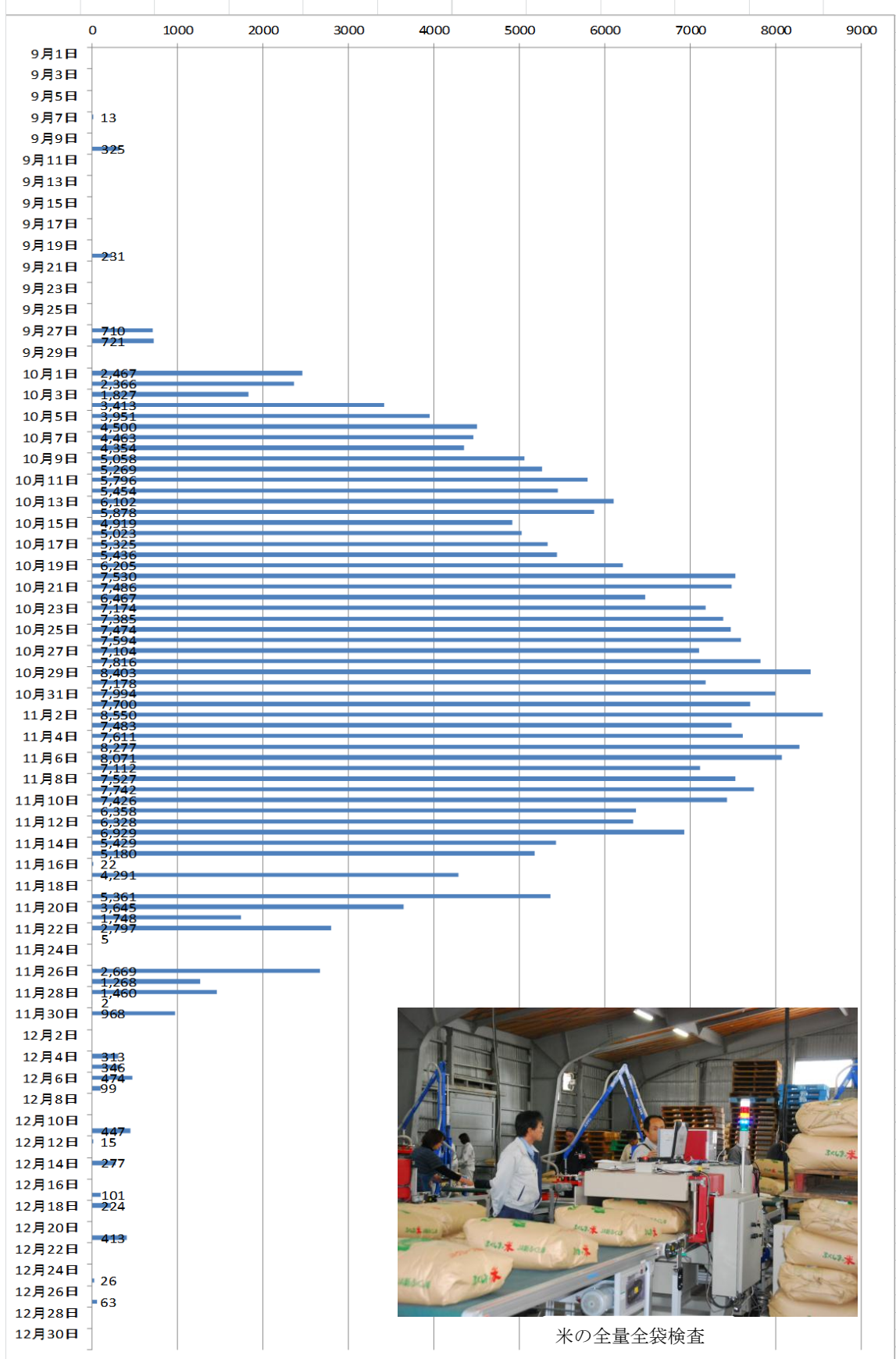
区 分		25未満 (Bq/kg)	～50 (Bq/kg)	～75 (Bq/kg)	～100 (Bq/kg)	100超 (Bq/kg)	計
スクリーニング検査	検査袋数	329,100	2,812	23	0	0	331,935
詳細検査	検査袋数	0	1	4	3	1	9
計	検査袋数	329,100	2,813	27	3	1	331,944
	割合(%)	99.1432	0.8474	0.0081	0.0009	0.0003	100.00

- ・ 基準値超過：旧福島市1袋

- ・ 農家戸数：1戸

平成24年度

米検査実施状況(9月1日～12月31日)



米の全量全袋検査

平成25年度
米検査実施状況(9月1日～12月31日まで)



(4) 平成 24 年度福島市産農産物（出荷物）の放射性物質の自主検査（園芸品目）

市内で生産された農産物（出荷物）の放射性物質自主検査を実施することにより、安全な農産物のみを流通させ、市民及び消費者の安全と安心を確保する。

ア 検査方法

出荷する全ての農家ごとに、出荷する全ての品目・品種について、検体を 5 点法※¹で採取し、測定器 47 台を使用し、国内随一といえる体制で検査を実施している。

※1「5 点法」・・・ほ場の四隅と中心の 5 地点からサンプルを採取すること。



検査の様子

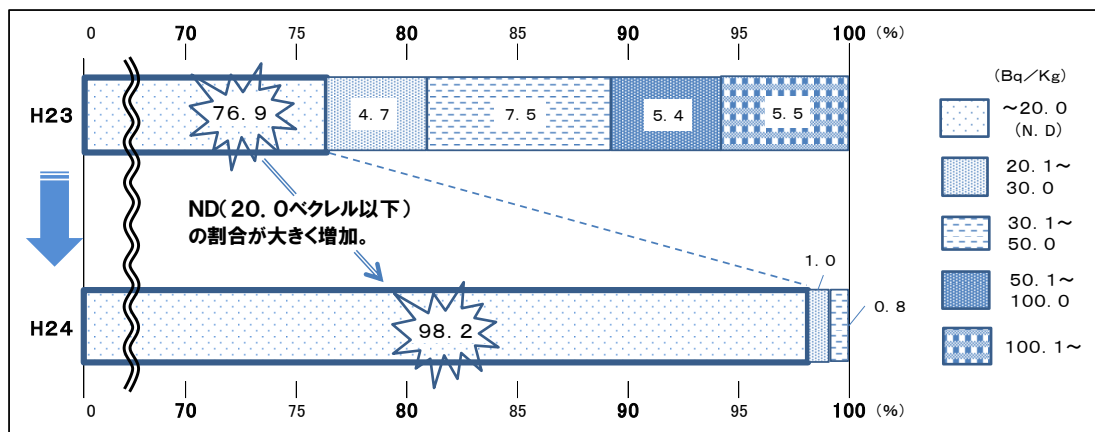
イ 検査概要

- (ア) 検査機関 福島市地域の恵み安全対策協議会
- (イ) 検査場所 JA 新ふくしまモニタリングセンター
- (ウ) 検査機器 NaI シンチレーション検出器 46 台(測定下限値 20.0Bq/kg)
ゲルマニウム半導体検出器 1 台
- (エ) 検査期間 平成 24 年 7 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日
- (オ) 検査件数 196 品目 22,934 件

ウ 平成 23 年度と平成 24 年度の検査結果の比較

(ア) 全体

平成 24 年度は、98.2%が測定下限値（20.0Bq/kg）以下であった。平成 23 年度の 76.9%と比較し、検出数は大幅に減少した。

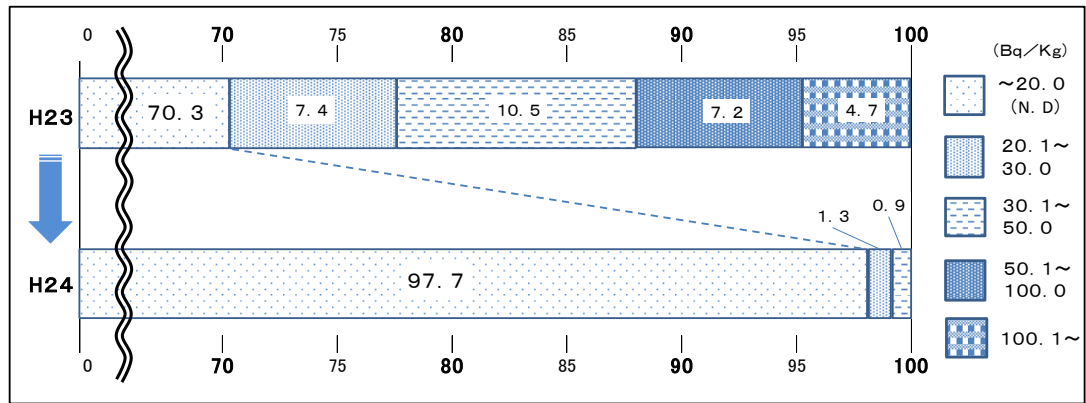


年度	件数／割合	セシウム 134・セシウム 137 合計値 (Bq/Kg)					計
		～20.0 (ND)	20.1～30.0	30.1～50.0	50.1～100.0	100.1～	
H23	件数	724	44	71	51	52	942
	割合	76.9%	4.7%	7.5%	5.4%	5.5%	100.0%
H24	件数	22,510	233	191			22,934
	割合	98.2%	1.0%	0.8%			100.0%

(イ) 作物分類別

① 果物

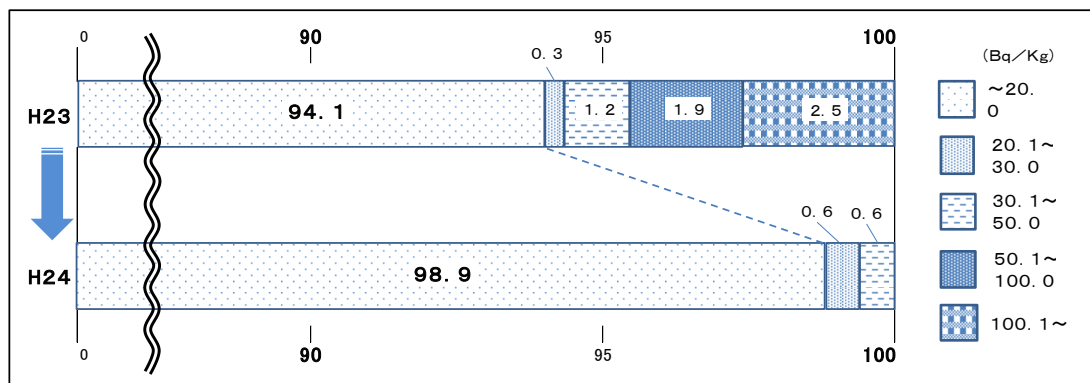
平成 23 年度の測定下限値（20.0 Bq/kg）以下が 70.3%であったのに対し、平成 24 年度には 97.7%となり、検出数は大幅に減少した。



年度	件数／割合	セシウム134・セシウム137合計値 (Bq/Kg)					計
		～20.0 (ND)	20.1～30.0	30.1～50.0	50.1～100.0	100.1～	
H23	件数	363	38	54	37	24	516
	割合	70.3%	7.4%	10.5%	7.2%	4.7%	100.0%
H24	件数	12,522	173	120			12,815
	割合	97.7%	1.3%	0.9%			100.0%

② 野菜

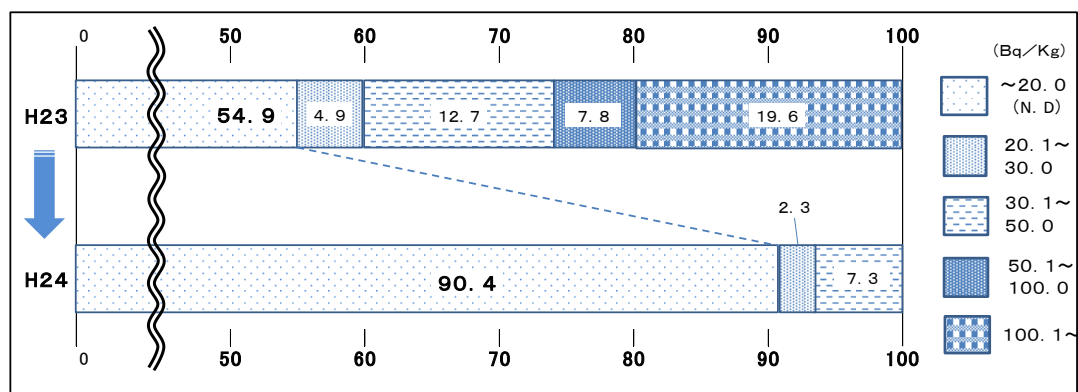
平成 23 年度においても測定下限値 (20.0 Bq/kg) 以下の割合が 9 割以上であったが、平成 24 年度は更に 4.8 ポイント増え、98.9%が測定下限値以下となった。



年度	件数／割合	セシウム134・セシウム137合計値 (Bq/Kg)					計
		～20.0 (ND)	20.1～30.0	30.1～50.0	50.1～100.0	100.1～	
H23	件数	305	1	4	6	8	324
	割合	94.1%	0.3%	1.2%	1.9%	2.5%	100.0%
H24	件数	9,791	55	55			9,901
	割合	98.9%	0.6%	0.6%			100.0%

③ きのこと・山菜・その他

平成 23 年度の測定下限値 (20.0 Bq/kg) 以下が 54.9%であったのに対し、平成 24 年度には 90.4%となり、検出数は大幅に減少した。

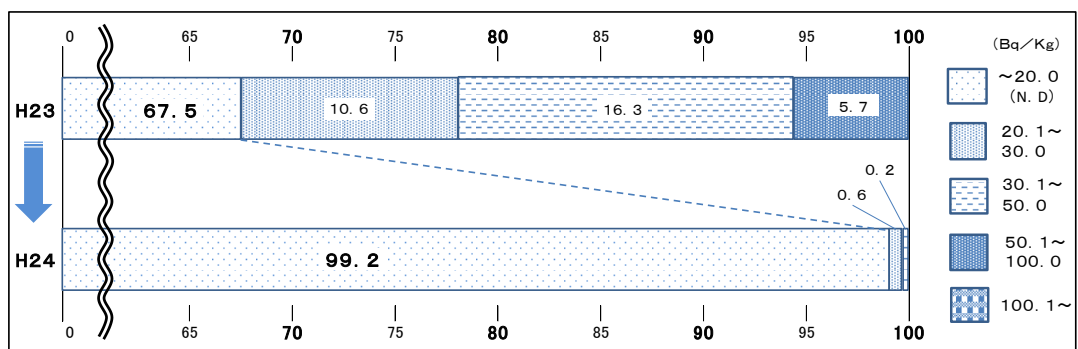


年度	件数／割合	セシウム134・セシウム137合計値 (Bq/Kg)					計
		～20.0 (ND)	20.1～30.0	30.1～50.0	50.1～100.0	100.1～	
H23	件数	56	5	13	8	20	102
	割合	54.9%	4.9%	12.7%	7.8%	19.6%	100.0%
H24	件数	197	5	16			218
	割合	90.4%	2.3%	7.3%			100.0%

(ウ) 主な農産物別

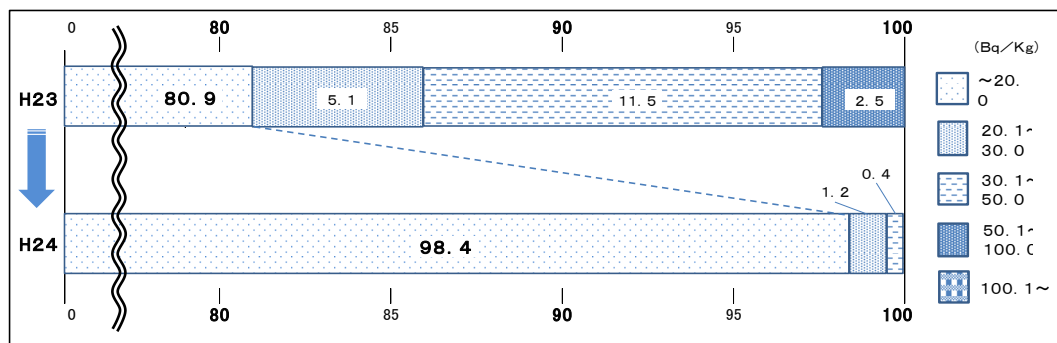
- 「桃」、「りんご」、「梨」、「ぶどう」については、平成 24 年度は測定下限値 (20.0 Bq/kg) 以下が 98.4%～99.5%であり、ほぼ放射性物質は検出されなかった。
- 「柿」については、平成 23 年度では測定下限値 (20.0 Bq/kg) 以下が 60.5%であったのに対し、平成 24 年度では 86.2%となり、検出数は大幅に減少した。

① 桃



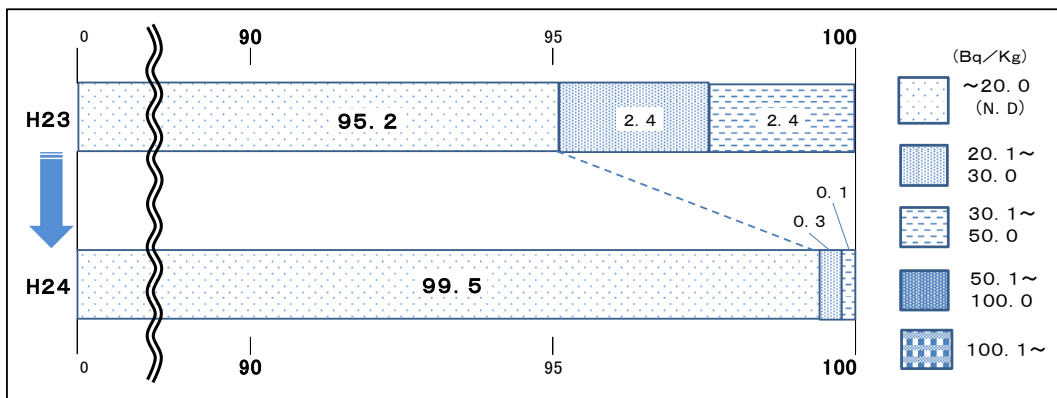
年度	件数／割合	セシウム134・セシウム137合計値 (Bq/Kg)					計
		～20.0 (ND)	20.1～30.0	30.1～50.0	50.1～100.0	100.1～	
H23	件数	83	13	20	7		123
	割合	67.5%	10.6%	16.3%	5.7%		100.0%
H24	件数	5,233	33	10			5,276
	割合	99.2%	0.6%	0.2%			100.0%

② りんご



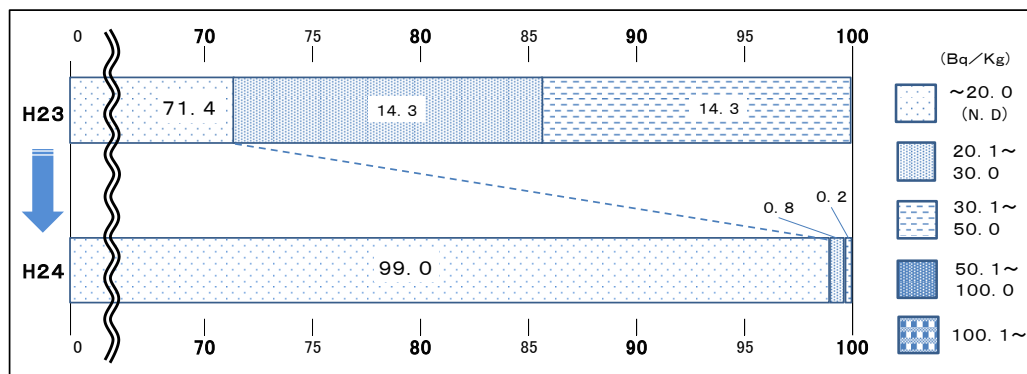
年度	件数／割合	セシウム134・セシウム137合計値 (Bq/Kg)					計
		~20.0 (ND)	20.1~30.0	30.1~50.0	50.1~100.0	100.1~	
H23	件数	127	8	18	4		157
	割合	80.9%	5.1%	11.5%	2.5%		100.0%
H24	件数	3,435	42	15			3,492
	割合	98.4%	1.2%	0.4%			100.0%

③ 梨



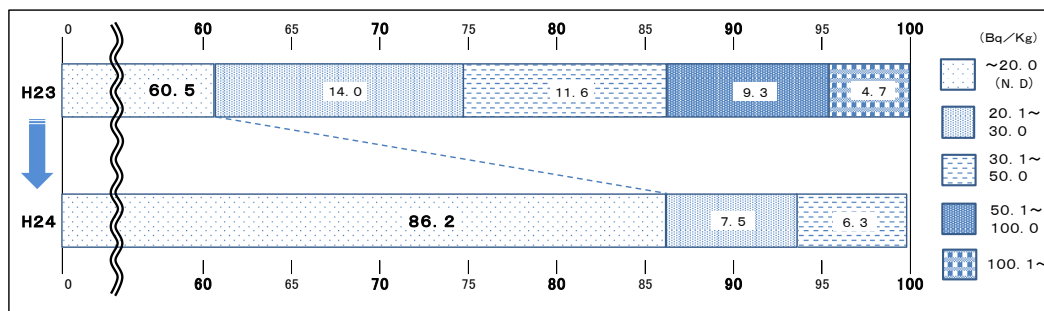
年度	件数／割合	セシウム134・セシウム137合計値 (Bq/Kg)					計
		~20.0 (ND)	20.1~30.0	30.1~50.0	50.1~100.0	100.1~	
H23	件数	80	2	2			84
	割合	95.2%	2.4%	2.4%			100.0%
H24	件数	2,175	7	3			2,185
	割合	99.5%	0.3%	0.1%			100.0%

④ ぶどう



年度	件数／割合	セシウム134・セシウム137合計値 (Bq/Kg)					計
		～20.0 (ND)	20.1～ 30.0	30.1～ 50.0	50.1～ 100.0	100.1～	
H23	件数	20	4	4			28
	割合	71.4%	14.3%	14.3%			100.0%
H24	件数	511	4	1			516
	割合	99.0%	0.8%	0.2%			100.0%

⑤ 柿



年度	件数／割合	セシウム134・セシウム137合計値 (Bq/Kg)					計
		～20.0 (ND)	20.1～ 30.0	30.1～ 50.0	50.1～ 100.0	100.1～	
H23	件数	26	6	5	4	2	43
	割合	60.5%	14.0%	11.6%	9.3%	4.7%	100.0%
H24	件数	588	51	43			682
	割合	86.2%	7.5%	6.3%			100.0%

エ まとめ

測定下限値を超えた検体の割合は、平成24年度では大幅に減少し、本市の農産物の放射性物質濃度は極めて低くなっている。

また、検出されたものも、国が定めた基準値（100.0 Bq/kg）を大幅に下回った。

(5) 各種PR事業

トップセールスや2名増員したミスピーチキャンペーンクルーによるPR、市長メッセージパンフレットの作成などの風評被害対策のPR事業を間断なく実施。

① 果物のトップセールス(平成23年度～)

九州、首都圏、阪神地区などの消費地の市場、店先、イベント会場などで、本市くだものおいさと安全性をPR

ミスピーチの2名増員(12名体制)



② ラッピングバスの運行(高速バス 福島⇄新宿)(平成 23～24 年度)

- ・ラッピングバスを利用した首都圏観光客対象の「ふくしまくだもの体感ツアー」の実施



首都圏観光客対象の「ふくしまくだもの体感ツアー」を実施した。

③ 市長からのメッセージチラシ

和合亮一氏の詩とコラボした安全安心チラシ(平成 23～24 年度)

決意

和合亮一

福島に風は吹く
福島に星は瞬く
福島に木は芽吹く
福島に花は咲く
福島に生きる
福島を生きる
福島を愛する
福島を信ずる
福島を歩く
福島の名を呼ぶ
福島を誇りに思う
福島を子どもたちに手渡す
福島を抱きしめる
福島と共に涙を流す
福島に泣く
福島が泣く
福島と泣く
福島で泣く
福島は私です
福島は妹です
福島は人生です
福島はあなたです
福島は父と母です
福島は子どもたちです
福島は青空です
福島は雲です

福島を守る
福島を取り戻す
福島を手のうちに
福島を生きる
福島に生きる
福島で生きる
福島を生きる
福島を生きる
福島を生きる
福島を生きる

わごう・りょういち 1968年福島生まれ。福島市在住。詩人。高校の国語教師。『AFTER』(思軒社)で中京中賞受賞。『地球図説時評』(思軒社)で読者賞受賞。現代詩の旗手として、イベントやラジオなどで幅広く活躍。ツイッター @wasgo2828。

市長からのメッセージ ～安全・安心な農産物をお届けしています～

皆様にお届けしている福島の農産物は、福島県が実施しているモニタリング調査のほか、福島市が東北大学の協力を得て実施している独自の放射性物質の調査により、国が定めた暫定規制値を下回っています。これからも福島の農産物をご利用いただき、一日も早い復興をめざしてがんばっている農家の皆さんを、どうか応援してください。

福島市長 瀬戸孝則

④ ミスピーチキャンペーンクルーの写真、メッセージとともに安全安心メッセージを記載

(平成 25 年度)

⑤ 量販店バイヤーに対する産地PR(平成 25 年度)

⑥ 福島ユナイテッドFCを活用したPR(平成 25 年度)